

山東省煙台市・青島市視察ご報告

法人部会長 安見 信行

関西日中平和友好会として訪中団は、今回で第 15 回になります。法人部会の活動の一環としてこの度、山東省煙台市と青島市を訪問してきました。駐大阪中国総領事館にも事前に訪中内容計画を説明しており、煙台・青島市政府と交流を持ち、関西日中平和友好会の活動を認識して頂き、将来双方がビジネス関係の構築を目指し、活発に交流できるように企画したものです。

期間：2012年5月10日（木）～5月13日（日）

参加者は以下の通り9名です。

団長 見本重宏会長

団員 神谷坦副会長、許衛忠副会長（通訳兼務）、高田俊一事務局長、安見信行法人部会長、阪口新太郎法人部会副副会長、今西忠雄理事、新恭一文化・広報部会長、稗田範吉氏（特別参加）

■2012年5月10日（木）

一行は、関西空港で午後2時集合し、点呼と確認を行い、東方航空のチェックインカウンターで搭乗手続き、手荷物検査、出国手続きの後、フライト時間までお土産品買い物やら各自がショッピングをして、搭乗口で待機しました。

やがて煙台行き東方航空 MU278 便の搭乗開始となり、9名が機内に入りました。東方航空便は定刻 16:10 に関西空港を離陸し一路、山東省煙台空港へ向かいました。（関西から2時間20分）

機内では多くの乗客（日本人・中国人）でほぼ満席で、エアバス社製 A320 機のため、狭く感じられ多少窮屈な状態でした。上空に来てから期待？する機内食が出てきましたが、中途半端な時間のせいかメインディッシュはなく、しかもビールの追加をしても“没有”でした。その後、着陸態勢に入り煙台空港到着時刻より15分早く17:15に無事、煙台空港に到着。その後、入国審査、荷物の受取、例の荷物検査機械に通してやっと空港の外に出ました。

空港では安見さんの友人である劉魯東さん、煙台ハイテク産業開発区投資促進中心の王蘭蘭さん、煙台服務外包模範園管理委員会の張曉杰さんが迎えに来てくれていました。また天津から煙台で合流する許副会長の便が少し遅延しているとのことで全員が揃うまで、しばしの休憩と煙草タイムです。

劉さんに聞けば、これから歓迎会をするので先に宴会場ホテルへ行き、食事後に宿泊先ホテルとのことで送迎のマイクロバスに我々は乗り、宴会場のホテルへ向かった。宴会場は煙台で5星級のクラウンプラザホテル）であった。

階上にある宴会場へ行くと、煙台高新技术産業園区管理委員会の卒秋軍副主任、煙台服務外包模範園管理委員会の朱文博主任がいて大変な役職の人が我々を待っていました。また煙台市人民対外友好協会の張租峽会長も同席されました。

さて、宴会が開始されたが、最初から赤ワイン、フルーツである。ビールがない。山東省での宴会もおもしろい。赤ワインも普通の赤ワイン、そして瓢箪型した変なボトルに入った赤ワインが出てきた。



関西 東方航空便



煙台机场



煙台机场門口で休憩



挨拶する見本会長

飲めば漢方薬の入った赤ワインである。製造工場を見ると山東省で有名な“張裕”製であった。それぞれ出席者の紹介をして、赤ワインで乾杯である。飲んで食べて“干杯”の繰返しである。



卒秋軍副主任



朱文博主任



張祖峽会長

噂では山東省の人はお酒が強く大変好きな人が多いそうです（危ない）。料理は、特有の海産品であり特にナマコの刺身、鮑の刺身が大変美味しく、お酒もどんどん胃の中に入って行った。やっと煙台ビールが出てきてまたまた干杯。我々一行は、煙台で熱烈な歓迎を受けたのである。宴会が終わり、宿泊先のホテル（金海湾大酒店）へ向かったが、夜9時頃のため、車窓からみる景色は暗く、ネオンのみでどこを走っているのかわからない。やがてホテルへ着いたら、海岸沿いにあるホテルであった。全員チェックインし各自が部屋へ入り、明日に備えた。



“張裕”漢方薬入った赤ワイン

■2012年5月11日（金）

翌朝、朝食前に、付近を散策したが、煙台の名前の通り、霧？霧？がかかっており、景色がはっきりしない。朝食を終え、ホテル前で記念写真をとってから一行はマイクロバスに乗り、目的地に向った。



金海湾大酒店前で記念撮影

時間があつたので途中の海岸で、モータボートに乗ることになり、許さんに頼んで値切り交渉をしてもらった。120元/人が90元/人となり交渉成立。しかし、いざ乗船して海岸沿いの海を周遊したが、どうもおかしい。値切った分、周遊の範囲を縮小したか？これが乗船組み7名の意見であった。

また、煙台の緑豊富や風景や海岸を一望できるゴルフ場の施設がある丘陵地で、暫く絶景を満喫した。眼下はゴルフの打ちっぱなし場、そしてゴルフ場のコースが見える。霧がかかってかすんで見えるが緑の風景を見ると、心が落ち着くのである。

時間が来たので我々一行は、目的地である煙台高新技术産業開発区センターへ向った。センターでは昨夜、一緒に食事をした朱主任、王小姐、張小姐が待っていてくれた。センターで煙台高新技术産業開発区の開設から今日までの状況説明を受けました。



煙台高新技术産業開発区センター内で

◇煙台高新技术産業開発区の説明は後述 1

朱主任、王小姐、張小姐に見送られ我々一行は次の目的地である万華集团公司へ向った。到着すると会社の王総経理助理が待機して頂き、しかも門口の上に“熱烈歓迎 関西日中平和友好会”のデジタル文字が表示されている。中国の企業を訪問すると大抵、この歓迎文字がデジタルか看板で表示されているのである。我々は大きな会議室に案内され、李建奎董事長、王劍波総経理助理から安見さんの会社との付き合いや会社の説明を拝聴した。



煙台万華集团公司

煙台万華集团は国策モデル企業として 1978 年に設立され現在世界第二位の MDI(ウレタンの原料)生産量を誇っています。(株)松田商会の 20 数年来の取引先で今回李董事長の好意で訪問が実現したものです。関西日中平和友好会の設立経緯を見本会長から説明した際、李董事長から煙台万華設立時日本からのプラント輸入の仲介契約会社も八路軍と一緒に戦った帰国兵士が設立した日本の某友好商社であるとの説明を受けお互いの縁を感じました。

その後、この会社の生産品紹介ブースを見学し、原料から出来る各種の製品の説明を李董事長自ら説明をして頂きました。通訳は勿論、許さんをお願いしました。



李董事長から説明を受ける



李董事長自らの商品説明を受ける



昼食時間となり会社の向かいにある万華賓館で昼食をご馳走になり、またもや昼から宴会となりました。会長の体調もすぐれないことから全員は多少セーブした感じです。こちらでも魚の刺身、車海老の刺身、ナマコそして海老フライ、またワイン、ビール、そして何故か日本盛のお酒を頂き、全員、昼から紅潮した顔で楽しい食事を頂きました。



李董事長からの歓迎昼食会



李董事長と安見さんの関係



公司門口で記念撮影

◇煙台万華集团公司の説明は後述 2

昼からの昼食接待を受け、全員紅潮顔をしながら、我々は青島市へ向け出発した。聞けば車で 3 時間かかるので夕方 5 時頃に青島市のホテルに到着するとのことでした。車は時速 100km くらいの速度で農村の道路と言っても片道 2 車線で高速道路並みに整備されている。しかも一直線である。途中、ガソリンスタンドで一回のトイレ休憩を挟み、道路をまっしぐらに青島へ。(途中の加油店での厕所は相変わらず汚い)



青島へ一直線の道路

青島の宿泊先ホテル麗晶大酒店に到着したのは午後 5 時すぎで、ホテルには劉さんの友人である李江東総経理が待機していました。李さんと挨拶し、ホテルでチェックインし、各部屋に荷物を置いて李さんの紹介で夕食に向った。宿泊ホテルから徒歩で 15 分くらいの所に“怡情楼”があり、そこで夕食を

しましたが、今日は昼からお酒が入っているので、軽く青島ビールで食事、乾杯はなしで各自、自由に飲むことになりました。夜は、李江東総経理の紹介で、数人でホテル近くの按摩に行き本格的な按摩をしてもらいました。価格は60元～80元で時間は一時間です。李江東総経理は、劉魯東さんと友人であり青島市に住んでいることから地理に明るいので今回の役目を引き受けて頂いたとのことでした。

■2012年5月12日（土）

中国では、土、日は連休になっている場合が多く、今日、訪問する予定の青島市招商促進局も休みでしたが、駐大阪中国総領事館からの連絡もあり、張莉局長、呂光輝日本処処長（通訳）、朱桂雲日本処プロジェクト主任、徐昌鵬一処が休日にも関わらず、我々の為に出勤して対応をして頂きました。

懇談では、張莉局長から青島市の概要説明をして頂き、DVDによる紹介画像を見て、我々中小企業の集まりなので、日本の中小企業に対する考え方も確認しました。また中国の関する情報が集まりにくい日本の中小企業だが、日系の進出企業に対し、青島市での状況確認で、外国人に対する社会保険制度加入が注目の質問となり、その回答を求めました。しかし具体的な内容はなく、中央政府の指導に基づき、地方政府の方針がそれぞれの見解を出しているのので地方政府に確認する必要があるとのことでした。一時間ほどの懇談会を終えて張莉局長から青島の大きなガイドブックを頂きました。その後、促進局の門口で記念撮影をして促進局をあとにしました。“許さんの中国語が上手ですね”の発言がユニークでした。



青島市招商促進局の皆さん



張莉局長から見本会長へ贈呈



張莉局長と記念撮影



説明を受ける一行



青島市人民政府



市政府前にある五四広場

◇青島市の概要は後述3

その後、我々一行は市内観光組とゴルフ組に分かれてそれぞれ青島を満喫しました。市内観光組はマイクロバスで市内観光、ゴルフ組は崂山区の天泰温泉にあるゴルフ場へ向いました。

夕方、再度、合流し夕食をともしましたが、今回の夕食は李江東総経理のご配慮で、大連にもあるキノコ料理店“何鮮菇”で薬膳料理を頂きました。松茸などキノコ類が多く、鍋のダシも美味しく全員が満足であったと思います。李江東総経理は青島簡明服装有限公司の最高責任者で大阪へも数回／年出張で来られるそうです。



キノコが一杯の“何鮮菇”



中央が李江東総経理



食事後全員で記念撮影

明日は、いよいよ帰国の日である。夕食後、全員がホテルへ戻り、青島の最後の夜を楽しみました。

■2012年5月13日（日）

朝から霧雨状態であった。ホテルで朝食後に近くのコンビニ“友客”（便利店）へ行き、青島缶ビールと赤ワインを買いに出かけた。最近の中国は、各地に中国企業のコンビニ、日系のコンビニが出来ており、買い物も大変便利になった。しかも24時間オープンしている。価格も安い。青島市内では宿泊先ホテルの近くに、麦凱樂（マイカル=実は大連の大連商場が経営、日本のマイカルは撤退済で名前のみ使用）、ジャスコが進出しており高級商場として定着しているが、値段がかなり高い。

我々は、各自チェックアウトし、煙台から同行してくれた劉さん、そして青島でお世話になった李江東総経理と一緒にマイクロバスで青島流亭国際空港へ向った。ホテルから空港まで約40分とのこと。天気は相変わらず良くない。霧雨、曇りで青島の名前らしくない（藍色海湾の意味である風景が見えない）。空港方面の高速道路を通って思うことは、各インターチェンジは非常にゆったりと大きく設計されており、カーブも日本と違い大きな円を描いている。さすが広大な中国であることが伺える。

やがて青島流亭国際空港（机场）が見えてきた。空港ビルの外観は非常に面白い設計である。蜘蛛の足のようなものがいくつもある。マイクロバスから荷物を出し、運転手に礼を言って空港ビル内へ入った。関空行きの東方航空便搭乗手続きまで20分ある。我々はチェックインカウンターでしばし待機してから搭乗手続きをまとめて行った。このあと荷物検査場へ入るが、ここでお世話になった劉さん、李江東総経理と別れた。二人には大変お世話になり感謝申し上げます。



青島 流亭国際空港



青島 流亭国際空港玄関



空港玄関で休憩



東方航空カウンター

荷物検査場、出国手続き、身体検査機械（ライターは全て没収）を通過し、空港内の免税店を回り買い物をして搭乗時刻まで待機である。おもしろいのは国際線の入り口から入ったが、搭乗口は国内線の10番搭乗口であるため、出発の30分前まで10番搭乗口に行けないことであった。

時間が来て我々は搭乗機東方航空便に搭乗した。機内は、今回もほぼ満席状態である。離陸時間はほぼ定刻の12:15に青島流亭国際空港10番を離れ、離陸した。帰りの便での機内食はメインディッシュがありビーフ・チキンの選択が出来た。

フライトも順調で、関西空港には定刻より15分早い15:30に無事、到着した。

今回の煙台・青島訪問で関係各位には大変お世話になりました。御礼申し上げます。

1. 煙台高技術産業開発区（藍色海湾 創業天堂）

成立：1990年5月国務院が批准、同年6月に山東省政府が批准した国家高新区内にある。これは中国全土にある10家中国亜太経済合作組織科学技術工業園区の一つでもある。

建設：2010年9月煙台国家高技術産業開発区建設推進大会举行し、今日に至る。

中国では数少ない3つの基準をクリアしている。

①煙台高技術産業開発区②中国亜太経済合作組織科技工業園区③煙台俄高技術産業化合作模範基地

キャッチフレーズ：

② 業高地 一心四帯（高教科研、軟件外包、金融商務、高端服務業）

②創新高地 科学技術 CBD 大厦、総合インキュベーション施設、生物技術の医薬など。

③人材高地 人材優先、八方英才教育を基本とし各種大學、職業学院服務技術学院がある。

2. 煙台万華合成革集团有限公司 (国有企業)

1978 年国家六五期間の重点建設項目で建設。1995 年改組し大型化工、轻工聯合企業集団となり国内最大の工業基地となった。中でも MDI (ポリウレタン) 産業規模は世界第五位、アジアでは最大。

工場設備は、媒炭基地、熱力発電、化工港、専用鉄道線、工業気体、汚水処理など大型設備がある。社員数は 3 千人強。2008 年度販売額 85.5 億元、利益 19.5 億元。傘下に 30 程の子会社がある。

3. 青島市概要

常住人口：845 万 6,100 人、戸籍人口：761 万 5,600 人。中心市街地の定住人口：347 万 4,500 人
行政区画：青島市には現在、市南、市北、四方、李滄、嶗山、黄島、城陽の 7 区と膠南、膠州、即墨、平度、萊西の 5 県クラスの市がある。

経済発展：改革開放後の 30 年間、青島は港湾都市、開放都市、ブランド都市、観光都市、海洋技術都市、オリンピック都市としての鮮明な特色を形成。「第十一次五ヵ年計画 (2005～2010 年) の期間に、“周辺の湾を保全、湾を抱いて発展する” 戦略の実施に力を入れ、先進的な製造業基地、ハイテク産業基地、現代的なサービス業基地、地域経済の中心、北東アジア国際海運センター、国家海洋研究センターを全力で造り上げ、社会経済の安定した早い速度の発展を保ってきた。

経済総生産：中国全体でベストテンに入る。2010 年の青島の総生産は 5,666 億元、五年間の平均伸率は 13.8%。

生産品：穀物や落花生、木材や果実、畜産品、水産品の生産が盛ん、中国で最も北にあるお茶の産地でもある。

産業基地：家電・エレクトロニクス、石油化学、自動車エンジン、船舶と海洋テクノロジー、紡績・アパレル、食品・飲料、機械・鉄鋼の 7 大工業産業基地を形成。

藍色海湾 山東省煙台・青島

(2012.05.17 事務局)